

平成24年度 第1回「学校運営協議会」 協議記録

- 1 日 時 平成24年5月21日(月) 午後3時～4時30分
- 2 場 所 長狭高等学校 文化ホール
- 3 参加者 出席者13名(欠席1名)[この他に、千葉県教育委員会4名、本校職員19名]
- 4 司 会 教頭(全体), 委員長(協議)

5 次 第

- (1) 開会のことば
- (2) 任命書交付 千葉県教育委員会より各委員へ
- (3) 校長あいさつ 校長
- (4) 千葉県教育委員会あいさつ
- (5) 各委員・県教委・事務局・各主任の紹介
- (6) 学校運営協議会の概要について
- (7) 委員長・副委員長の選出 委員長 K委員, 副委員長 F委員
- (8) 協議

ア 本校の現状と取り組みについて

・本校の現状説明

Z教頭 資料3により全日制について説明

事務局 進路実績等の説明

T教頭 資料4により定時制について説明

N委員 鴨川中からも多くの生徒が長狭高校に進学しており、中学校でもこれから長狭高校をPRしていきたいと考えています。

長狭高校では、募集人員が昨年度から4クラスになり、何か影響がありますか。また、定時制の聴講生制度は、なぜ世界史Aを実施するのですか。また、他の教科で実施することは考えていますか。

Z教頭 学校生活(集団生活)における切磋琢磨、部活動の活性化などの面で課題があると思います。

T教頭 世界史は、興味づけしやすく学びやすい科目です。他の教科については、検討しこれから広げていく予定です。

委員長 サポートシステムは素晴らしいシステムですが、どのように運営していますか。

Z教頭 現在は1・3年生の8名が対象で、国語・数学・英語の教員が1名ずつ生徒一人ひとりを担当しています。昨年度のサポートシステム対象者は、部活動との両立を果たし公立大や難しい私立大学に一般入試で合格しました。

事務局 サポートシステムについて補足します。各学年から4～5名募集し、国数英3教科の教員で指導しています。難関私立大合格を目標としており、小論文や面接の指導も実施

し、3年の2月までサポートします。なお、サポートシステムが部活動と重なることがあれば、課題などで補助しています。

委員長 サポートシステムの対象者は、先生が選出しているのですか。

事務局 本人の目標と意欲などを踏まえて選んでいます。

イ 本年度の学校運営方針について

・概要説明

校長 資料1により説明

・質疑及び意見交換

委員長 この協議会は、学校に意見を述べたり、学校運営について点検することができますが、地域の保護者としては、そのニーズにあった生徒を育てて欲しいと思いませんか。

A 委員 地元に残って地域に貢献する人材の育成も必要ですが、頑張っ外に出ていく生徒がいてもいいと思います。この方針で進めて欲しいと思います。いずれにしても、高い志や夢を持たせられることが大切だと思います。

委員長 将来の夢がなかなか持てない生徒に、それを持たせてあげるのが学校だと思います。夢を持たせる環境をどう作るかが重要です。

E 委員 満足度が高いとは、目標があり夢があり充実した高校生活があることで、夢や目標に向かって努力できる生徒を育てて欲しいと思います。

地元鴨川市にどんな魅力があるのか分からない部分もあるので、鴨川市と一緒にやっていけると良いと思います。

今、生徒の多くが安定した仕事に就こうと考えており、それに流されているのではないのでしょうか。長狭高校は、人間づくりを学校がしっかりとしてくれているので、その点では有難いと思います。

委員長 校長の説明の中に、入学してくる生徒の学力差が大きいという話がありました。学力差のある生徒が混在する中で、授業の展開はどのように行っていますか。

Z 教頭 英語や数学を中心に、少人数授業や習熟度別の授業も積極的に実施しています。

C 委員 昨年度、ミニ集会でキャリア教育の講演に参加しました。そこで感じたことは、変化の激しい時代で親子で迷っているように感じました。

学校教育目標の(1)は、「学力」ではなく「人間力」のような表現に変えた方がいいのではないかと思います。

キャリア教育の一環として、地元に戻ってきた大人の姿を生徒に見せるといいと思います。

M 委員 私は「学力」が良いと思います。小学校でも学力差はありますが、広い意味での「学力」が良いと思います。

B 委員 出身中学の地域別資料をみると、鴨川市内の出身者が5割程度です。市内の中学生がもっと入学できるような努力が必要かと思います。

N 委員 木更津市や君津市、館山市に進学する中学生が、何を考えているのかを知る必要があると思います。もし、中学生が自分で進路選択を行っているのなら素晴らしいことですが、長狭高校にはもっともっと魅力のある学校になって欲しいと思います。

B 委員 私もそう思います。

G 委員 地域との連携をどのような方法で行っていくのでしょうか。情報提供など積極的に行い、団体等との連携を密にしていく必要があるのではないかと思います。

H 委員 私たちは将来に対して不安を感じていますが、若い人たちはそれを実感していないように感じます。どんな仕事選びをすれば良いのかを、中学校の頃から指導するべきと考えます。

将来、医療・福祉が拡大していくと思いますが、基礎的学力を向上させ将来の学習に備えることが大切で、そうすれば出口は明確になると思います。医療・福祉コースをどう扱っていくのかお聞かせください。

校長 “今の日本の学生は勉強をしなくなった”と言われていています。学力をつけないと、社会に出たときに自分で問題解決ができないことになりかねません。高校は学力をつける最後の砦だと思います。ですから、将来医療人として働く、或いは福祉に従事するための心構えや倫理観を育てることも大切ですが、まずは基礎学力をしっかりとつけさせることを考えたい。

また、本校はコミュニティー・スクールとして様々な取組をしています。その内容については、HPを一新するなど広報活動に努めて参りましたが、地域性もあってHPには限界があります。今後は、紙ベースの広報にも力を入れ、さらに小学校の先生方にも本校を知っていただける方策を考えたいと思います。

委員長 本年度の学校運営方針について、いいかがでしょうか。

全委員 承認された（学校運営方針は、長狭高校トップ→メニュー→学校概要 に掲載）

F 委員 中学校長に聞きたいのですが、高校の方針や取り組みで生徒を送りたいと思いませんか。

N 委員 取り組みや実績があれば送りたいと思います。

M 委員 学校の取り組む姿勢を見て、協力したいと思います。

L 委員 鴨川小などは、あいさつが非常に良いので、この様な地域の良いところを高校でも伸ばして欲しいと思います。

ウ 教育課程について

事務局 資料2により全日制について説明

T 教頭 資料2により定時制について説明

長谷川委員長 各委員方いかがでしょうか。

全委員 承認された（教育課程は、長狭高校トップ→メニュー→教育課程 に掲載）

エ 本年度の取り組みについて

事務局 資料5・資料6により説明

委員長 長狭高校鴨川協力会が主催している高校受験対策講座は例年何人くらい参加していますか。

Z 教頭 約50名です。

I 委員 県立学校改革推進プランと本年度の取り組みの関連はありますか。

校長 本校が「コミュニティ・スクールの指定」や「医療・福祉コースの設置校」になったのは、地域を元気にできる学校であると期待されているからです。私は、この2つは一体であると考えています。

医療・福祉コースは、平成26年度入学の2年次からスタートする予定で、教育課程は本年度中に編成する予定です。

I 委員 人間力や学力を向上させると他の分野への可能性も出てくる。医療・福祉の方向へ強くリードすることはあまり良くないとおもいます。あくまでも、選択肢の一つとして考え、他の分野の可能性も考え、広い視野をもって進路指導をしてもらいたいと考えます。

校長 まず大切なのは、生徒一人一人に明確なキャリアデザインを持たせることです。医療・福祉コースはこの地域のアドバンテージを踏まえた選択肢です。

(9) その他

Z 教頭 資料6により説明

夏休みに、市内3中学と中高の交流会を行う予定です。テーマを決めて、テーマについて2時間程度交流会を行う計画です。また、秋に実施予定のミニ集会の内容については、現在検討中です。

(10) 閉会のことば

